

(様式6)

公共事業新規箇所評価調書

評価確定日(令和元年 8月 6日)

事業コード	R元-建-新-04		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(交通安全)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	歩道設置事業		班 名	道路環境・維持班 (tel)018-860-2488
路線名等	(一) 植田平鹿線		担当課長名	道路課長 佐藤 秀治
箇所名	横手市平鹿町下鍋倉		担当者名	副主幹(兼) 班長 大森 郁夫
プランとの 関連	政策コード	04	政 策 名	秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略
	施策コード	05	施 策 名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備
	指標コード	04	施策目標(指標)名	日々の暮らしを支える生活道路の機能強化

1. 事業の概要

事業期間	R 2 ~ R 7 (6年)	総事業費	5.9 億円	国庫補助率	65.45																																																																																				
事業規模	延長:L=540m 幅員:W=6.0(11.0)m (1.25-3.00-3.00-1.25-2.50))																																																																																								
事業の立案 に至る背景	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般県道・植田平鹿線は、横手市十文字町を起点とし横手市平鹿町を終点とする延長約5.0kmの路線である。生活道路としての利用のほか、国道13号の湯沢一大曲間を結ぶ迂回路として交通量が多い路線である。 ○ 当該区間は、浅舞小学校(沿線約1.5km北側)の通学路として小学生児童が利用しているほか、区間内には、下鍋倉保育所といった社会福祉施設が立地している。 ○ 道路沿線には人家が連担し、道路側溝に接していることに加え、車道幅員が5.0mと狭隘であり、歩道も未整備であることから、児童等の歩行者は常に危険な状況での歩行を強いられている。 ○ 安全・安心な交通の確保を図るため、地元から早急な整備を強く望まれている。 																																																																																								
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通学路における児童や高齢者などの歩行者の安全・安心確保 ○ 地域の生活圏における交流活性化や利便性向上 																																																																																								
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全 体</th> <th>R 2 年 度</th> <th>R 3 年 度</th> <th>R 4 年 度</th> <th>R 5 年 度 以 降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>590,000</td> <td>20,000</td> <td>40,000</td> <td>138,000</td> <td>392,000</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>142,200</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>142,200</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>380,000</td> <td></td> <td></td> <td>137,000</td> <td>243,000</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>67,800</td> <td>20,000</td> <td>40,000</td> <td>1,000</td> <td>6,800</td> </tr> <tr> <td>財源</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国庫補助</td> <td>386,155</td> <td>13,090</td> <td>26,180</td> <td>90,321</td> <td>256,564</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td>183,300</td> <td>6,200</td> <td>12,400</td> <td>42,900</td> <td>121,800</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>20,545</td> <td>710</td> <td>1,420</td> <td>4,779</td> <td>13,636</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td></td> <td>路線測量 地質調査 詳細設計</td> <td>用地測量 建物調査</td> <td>用地補償</td> <td>本工事 用地補償</td> </tr> </tbody> </table>						全 体	R 2 年 度	R 3 年 度	R 4 年 度	R 5 年 度 以 降	事業費	590,000	20,000	40,000	138,000	392,000	経費						工事費	142,200				142,200	用補費	380,000			137,000	243,000	内訳						その他	67,800	20,000	40,000	1,000	6,800	財源						国庫補助	386,155	13,090	26,180	90,321	256,564	内訳						県債	183,300	6,200	12,400	42,900	121,800	その他						一般財源	20,545	710	1,420	4,779	13,636	事業内容		路線測量 地質調査 詳細設計	用地測量 建物調査	用地補償	本工事 用地補償
	全 体	R 2 年 度	R 3 年 度	R 4 年 度	R 5 年 度 以 降																																																																																				
事業費	590,000	20,000	40,000	138,000	392,000																																																																																				
経費																																																																																									
工事費	142,200				142,200																																																																																				
用補費	380,000			137,000	243,000																																																																																				
内訳																																																																																									
その他	67,800	20,000	40,000	1,000	6,800																																																																																				
財源																																																																																									
国庫補助	386,155	13,090	26,180	90,321	256,564																																																																																				
内訳																																																																																									
県債	183,300	6,200	12,400	42,900	121,800																																																																																				
その他																																																																																									
一般財源	20,545	710	1,420	4,779	13,636																																																																																				
事業内容		路線測量 地質調査 詳細設計	用地測量 建物調査	用地補償	本工事 用地補償																																																																																				
調査経緯	○ 平成29年度 道路予備設計																																																																																								
上位計画での 位置付け	○ 第3期ふるさと秋田元気創造プランにおける重点戦略「秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略」を推進する事業																																																																																								
関連プロジ ェクト等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第10次秋田県交通安全計画(H28~H32) ○ 横手市通学路交通安全プログラム 																																																																																								
事業を取り 巻く情勢の 変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横手市から歩道設置に関する要望書の提出 ○ 地元町内会から歩道設置に関する要望書の提出 ○ 通学路合同点検を通して、PTAや警察等から歩道整備要望 																																																																																								
事業効果把 握の手法	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td colspan="4">通学路指定路線における歩道整備率</td> </tr> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="4">実績延長/通学路指定延長</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td>○ 成果指標</td> <td>● 業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td>○ 有 ● 無</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td colspan="2">67.7%</td> <td rowspan="2">データ等の出典</td> <td rowspan="2">道路課調べ</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td colspan="2">67.0%</td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td colspan="2">99.0%</td> <td>把握の時期</td> <td>平成31年 4月</td> </tr> </table>					指標名	通学路指定路線における歩道整備率				指標式	実績延長/通学路指定延長				指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	目標値 a	67.7%		データ等の出典	道路課調べ	実績値 b	67.0%		達成率 b/a	99.0%		把握の時期	平成31年 4月																																																								
指標名	通学路指定路線における歩道整備率																																																																																								
指標式	実績延長/通学路指定延長																																																																																								
指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																																																					
目標値 a	67.7%		データ等の出典	道路課調べ																																																																																					
実績値 b	67.0%																																																																																								
達成率 b/a	99.0%		把握の時期	平成31年 4月																																																																																					

2. 所管課の1次評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当該区間は浅舞小学校の通学路として使用されているが、歩道が未設置であり、車道幅員も狭隘 (5.0m) であることに加え、道路脇には蓋未設置の道路側溝が接していることから、児童等の歩行者の安全な通行に支障をきたしている状況にある。 ○ 本路線は北側から歩道整備が進められてきており、当該区間を整備することで、浅舞小学校の通学路として歩道の連続性が確保される。 	20点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 過年度 (H19~H28) に歩行者が巻き込まれる人身事故が2件発生している。 ○ 当該区間は、「横手市通学路交通安全プログラム」において、要対策箇所として位置づけられており、早急に歩道の整備を実施する必要性のある箇所である。 ○ 当該区間では、平成29年度に通行中の児童が足を滑らせ水路に転落する事故が発生しており、応急対策は実施済であるが、早急な歩道整備による安全性の確保が必要である。 	20点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歩道整備により連続性が確保され、車両と歩行者が分離されることで、児童等の歩行者の安全性が向上する。 	15点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一部供用等を図ることで事業効果の早期発現に努める。 ○ 現道拡幅のため早期に事業効果が発現する。 	10点
熱 度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横手市や地元町内会から要望書が提出されている。 ○ 通学路合同点検を通して、PTAや警察等から歩道整備が求められている。 	15点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III)	80点
	判定ランク I であり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	<p>● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留</p> <p>評価結果から事業箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。</p>	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

4. 財政課長意見

意見内容	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

5. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 交通安全事業 (歩道)

事業コード (R元-建-新-04)
箇所名 (横手市平鹿町下鍋倉)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	12時間自動車交通量		4,000台/12h以上	10	10	・4,251台/12h
			1,000台/12h以上	5		
			1,000台/12h未満	0		
	歩行者交通量		100人/日以上	10	-	通学路以外の場合
			100人/日未満	5		
			学童・園児 40人/日以上	10		
			学童・園児 40人/日未満	5		
	歩道の連続性		計画区間前後に歩道あり	10	5	通学路の場合 ・33人 (学校開き取り)
			計画区間前後の一方に歩道あり	5		
			計画区間前後に歩道なし	0		
	計		30	20		
緊急性	関連事業の有無		あり	10	0	
			なし	0		
	事故状況 (死傷事故)		歩行者の死傷事故あり	10	10	・人対車両の事故2件 (H19、H28)
			車両単独もしくは相互の死傷事故あり	5		
			事故の発生なし	0		
通学路交通安全プログラムに基づく対策箇所等		該当あり	10	10	・横手市交通安全プログラムにおける対策箇所	
		該当なし	0			
	計		30	20		
有効性	交通安全指定道路		あり	5	5	・3号基準該当
			なし	0		
	通学路指定		あり	5	5	・浅舞小学校
			なし	0		
	公共施設 医療機関、公民館、図書館等		あり	5	5	・下鍋倉保育所
		なし	0			
	計		15	15		
効率性	供用開始までの期日		5年以内に供用開始可能であり効果の出現が早い	10	10	・現道拡幅のため、一部供用等を図ることで、早期の事業効果発現が可能
			供用開始まで6年から7年の時間を要する	5		
			供用開始まで8年以上と相当時間を要する	0		
	計		10	10		
熟度	地元ニーズ		要望あり	10	10	・横手市より要望書
			要望なし	0		
	地元の協力体制		あり	5	5	・地元町内会より要望書
			なし	0		
	計		15	15		
合計				100	80	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	判定ランクIであり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		